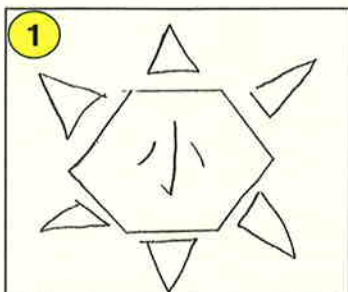
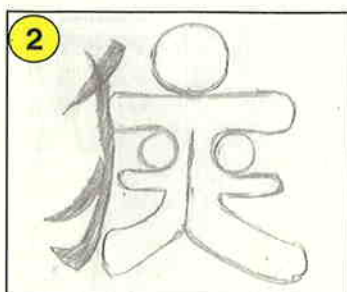


狭山台小学校の校章デザイン応募作品

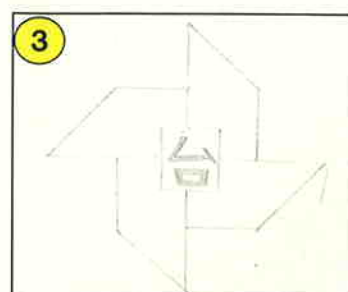
2009. 9. 10



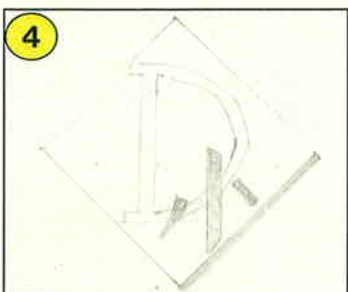
このデザインの意味は、児童や先生たちがあかるく、仲よくできるように、たいようをイメージした。



狭山台の「狭」を基本に、2人の子供が手を取り合って、より大きく成長するというイメージです。



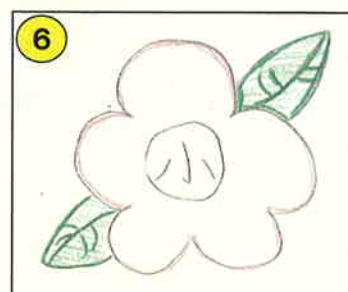
風にむかって、くるくる回る風車の様に、元気で学んでいってほしいと願います。



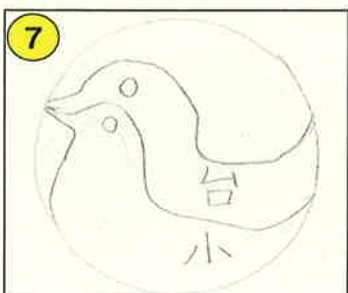
シンプルで覚えやすく書きやすい校章をと考えました。



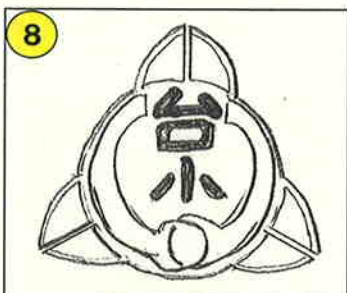
かぶと虫は大人気だから校章にしました。



つつじは狭山のお花なので、これにしました。



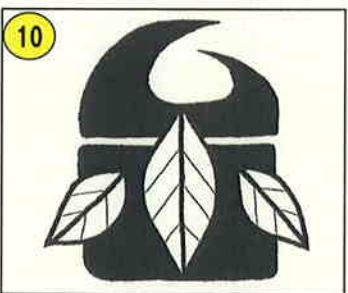
ハトは、平和の象徴で、台北小と台南小の2校が一つになって、新しい学校を築くことを示しています。



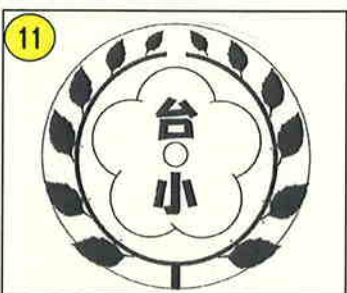
外側は狭山市のシンボル茶の葉(知・徳・体)の三枚を表す。中心は台中の校章との関連(連携)シンプルで分かりやすく。内側は2つの伝統(2本の手)(台北小)と(台南小)を受け継いで、仲良く握手、更なる発展を願う。



狭山台小(さやま台小)の字をデザインした。



狭山台の台地の上に堂々と建つ小学校をイメージしました。「小」の字は、けやき通りのけやきの葉です。子どもたちの大好きな甲虫も意識しました。



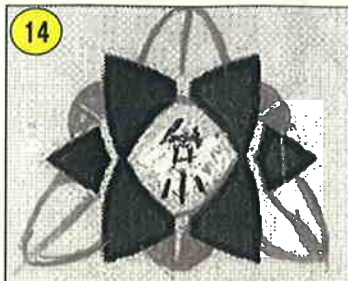
外側に2本のお茶の木と葉を配し、中心にはお茶の花を配して、新しい学校名をデザインした。2本のお茶の木は2つの学校が1つになることを、また、6枚の葉は、1年生から6年生をイメージした。



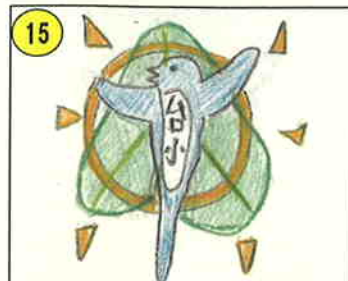
コンセプト「狭山台からあふれる光を育もう」 狭山市の名産物のお茶の葉をイメージした緑色のオブジェで狭山の町を表しました。黄色の部分は光をイメージして、未来への希望、暖かさ、を表しています。中心の輪は、友情や信頼といった人々のつながりをイメージしました。



13
 けやきの木を上から見たイメージを表しています。(茶色部分を幹、台小部分は葉をイメージしています。) 茶色ベースに浮きだす緑色の台小を意味するものは、けやきの木です。狭山台小近くにある、けやき通りをイメージしました。また、けやきの木のよう
 に、大きく立派に学び育つようにと願いを込め、狭山台小学校の校章とし応募いたします。



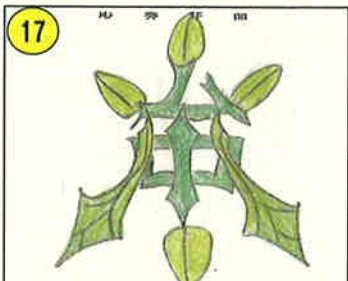
14
 狭山台南小と狭山台北小の校章を統合させた。それぞれ培った良い面をうまく合わせていってほしいとの願い。



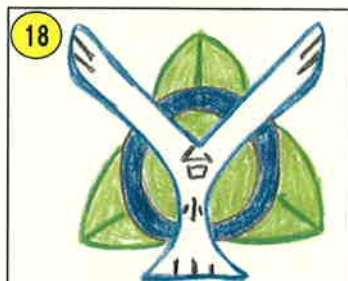
15
 緑のお茶の葉と、狭山市の鳥のオナガと、太陽をイメージして、元気な明るい、狭山台小の子どもたちを思いデザインしました。



16
 狭山台には、緑がたくさんあるので、緑の中の小学校というイメージを考えました。



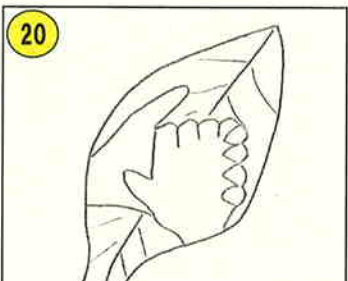
17
 台小という文字をそのまま校章の形にしてみました。狭山の豊かな緑、狭山市のけやきをベースにして、この校章をイメージしました。来年からはじまる狭山台小の生徒が、のびのびと力を伸ばしていくことを願い、描きました。



18
 中央に狭山台で多く見られる、また、市の鳥であるオナガをイメージした形をおき、インパクトのあるデザインに仕上げました。まわりの3つの緑は、お茶の葉をイメージしています。今回2つの小学校が合併するということで、すべてが丸く調和するよう願いをこめて考えました。



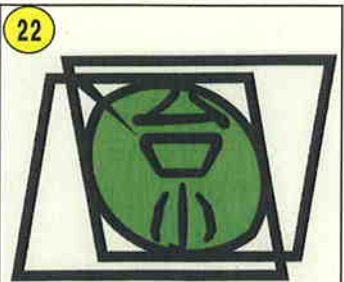
19
 オレンジの半円はそれぞれ2つの学校を示しています。台南小と台北小がふたつ合わさり豊かな学校を作り出すことを願いデザインした。緑の3つの葉はお茶の葉をイメージし、外側の三角形は生徒、先生、地域の強いつながりをイメージした。



20
 狭山茶の葉に、二つの学校の子どもたちが手を携え、狭山台の「台」の字を表したものです。



21
 2校が1つになるということで、狭山市特産のお茶の葉を重ねてデザインしました。心の通いあい、あたたかさを表現するために、丸みを出し、ハートの形にしてみました。



22
 狭山台という地域、2校が1つになるということをお茶の葉を重ねることで表現しました。市のお茶の葉も組み込んでデザインしました。



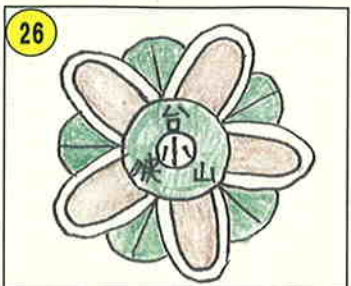
23
 北と南からやってきた市の鳥「おなが」が手を取り合い、協力して新しい小学校を作り上げていくイメージです。



24
 茶の実をイメージしています。



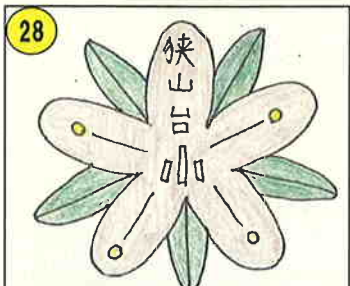
25 みんなで手をとりあって、なかよくしているところ。



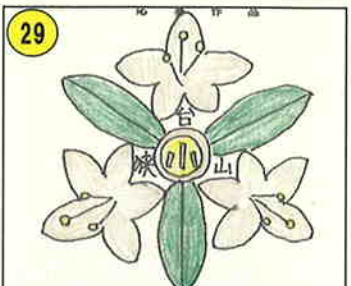
26 つつじとはつぱです。



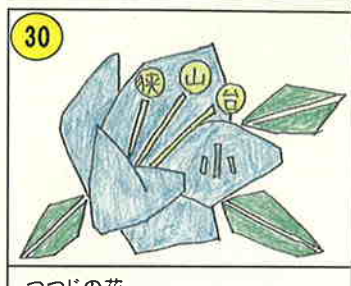
27 学校への登下校の時、道に植わっているつつじをかきました。とてもきれいだからです。



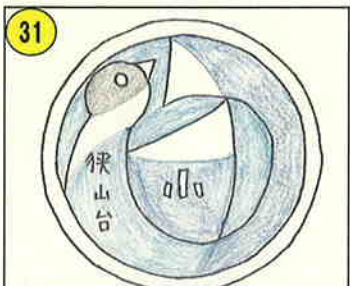
28 つつじをかきました。たくさんの葉っぱは、たくさんの友だちです。



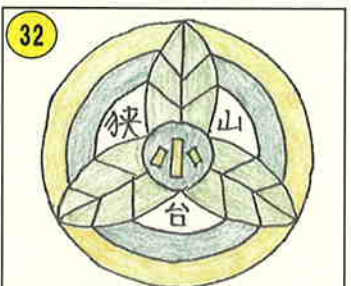
29 つつじの花とお茶の実・葉をデザインした。それぞれ三枚つつじは、現在、過去、未来を表現した。



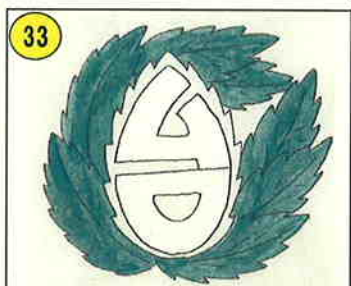
30 つつじの花 狭山台周辺で沢山みられ、とても美しいから。子供達にも、その姿勢、品格などを学んで欲しいという願いを込めた。



31 市の鳥、尾長どりをイメージし、鳥が大空へはばたくように、子供達も成長してくれたら、という思いから。



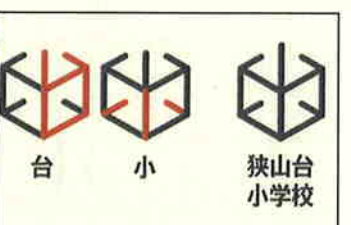
32 お茶の木とお日さまをデザインした。太陽の光をたくさんあびて、お茶の木がスクスク育つように子供達も元気に育ってほしいと願って。



33 狭山台には、四季折々の風景を楽しませてくれる「ケヤキ並木」があることから、ケヤキに囲まれた学校をイメージし、ケヤキの葉で狭山台の「台」の文字を囲むデザインにした。



34 狭山台には、四季折々の風景を楽しませてくれる「ケヤキ並木」があることから、ケヤキに囲まれた学校をイメージし、ケヤキ並木とケヤキの葉で狭山台小学校の「台小」の文字を囲むデザインにした。



35 新しい名称である「狭山台小学校」の「台」と「小」でハコ(立方体)を構成しました。ハコ=場所=学校を表しています。全体的なデザインは、ダイヤモンド(新しさ)のようで、亀甲にも見える(古さ)形。南・北の古くからの歴史が集まって新しい学校になった、という意図です。



36 狭山台のけやき並木を基調に、グローバル社会の中で、子どもたちに英語を意識してほしく、英語による校章を制作しました。



37 狭山台南小学校と狭山台北小学校の各々カラーの違う学校があったり、色々な学校が作られていくことになる。そこで二つの学校からできるということから「D」の周りに二つの木(狭山台といえばケヤキ並木である。)のワッカをつけて表現した。学校をつくるのは子ども達であることから配色(「d」「Sayamadai Elementary School」)は生徒に任せたい。